

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成19年 7月 3日に不適合管理委員会で審査された不適合事象は、下記のとおりです。

区分Ⅰ：該当なし

区分Ⅱ：該当なし

区分Ⅲ：該当なし

その他：8件

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	原子炉圧力容器漏えい検査用圧力調整弁の信号変換器継手部において、エア漏れ（かに泡程度）が認められたため、当該継手部を修理	D	
2	3号機	タービン湿分分離器ドレンタンク（1）のレベルスイッチに動作不良（水位が通常値に戻っても「水位低」警報が復帰せず）が認められたため、当該レベルスイッチを点検・修理	D	
3	3号機	プロセス計算機のタービン駆動原子炉給水ポンプ（B）の吸込流量指示値において、計器の指示値との差異が認められたため、当該計算機のプログラムを点検	D	
4	4号機	プロセス計算機ハードコピー用プリンタ装置において、動作不良が認められたため、当該プリンタ装置を点検・修理	D	
5	4号機	原子炉冷却材浄化系サンプルドレン排水先切替用圧力調整器において、自動制御不良（指針のハンチング及び警報「CUW系サンプル圧力高／低」の発生）が認められたため、当該圧力調整器を点検・修理	D	
6	6号機	タービン補機冷却水系の所内用空気圧縮機（A）シリンダ冷却水フローグラス出口弁の銘板記載番号に不備が認められたため、当該銘板を取替え	D	
7	6号機	タービン建屋2階空調換気冷却装置（B）用圧縮機（B）において、吐出圧力計に動作不良（指針固着）が認められたため、当該圧力計を点検・修理	D	
8	集中環境施設	補助ボイラ（A）において、燃焼用空気圧力発信器の元弁に動作不良（全閉不可）が認められたため、当該元弁を点検・修理	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉停止 ・発電所外への放射性物質の漏えい ・非常用炉心冷却系の作動 ・火災の発生 など
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・安全上重要な機器等の軽度な故障（技術基準に適合する場合） ・管理区域内の放射性物質の軽度な漏えい ・原子炉等への異物の混入 など
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・主要パラメータの緩やかな変化 ・人の負傷または病気の発生 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・日常小修理 など

<原子力発電所における不適合事象の是正管理>

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 「不適合の定義」（JEAG4101-2000より）

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）

不適合管理グレード分け（不適合管理委員会にて決定）

- A s : 法令、安全協定に基づく報告事象
プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 保安規定に関わる不適合事象
定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた不適合事象
運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な不適合事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

<注 意>

掲載内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のお電話までお願いいたします。

電 話：0240-32-3432 福島第一原子力発電所・広報部・情報発信グループまで